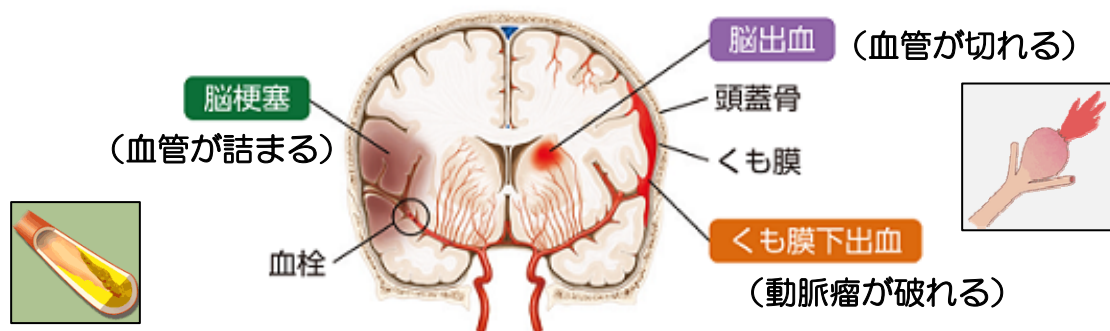


脳卒中外来のご案内

脳卒中とは、脳の血管が詰まったり（脳梗塞）、切れたり破れたり（脳出血・くも膜下出血）することにより脳自体が障害される病気です。そのため、頭痛、手足の麻痺やしびれ、言語障害、意識障害などを生じ、多くが**後遺症**として残ります。時に死に至ることもあり、非常に怖い病気です。



高血圧、糖尿病、高脂血症（脂質異常）、不整脈（心房細動）などの持病や喫煙、大量飲酒、過労、ストレスなどの生活習慣が原因とされています。遺伝的な要素もあり、身内に脳卒中を発症した人がいる場合は、脳卒中を発症する可能性が高いとされています。

また、脳卒中は**再発しやすい**病気です。再発した場合は、最初の時よりも後遺症が重くなったり、新たな後遺症が加わります。

よって、**脳卒中の発症および再発を予防することはとても大切なことです**。原因となる持病の治療と生活習慣の改善のみならず、MRIなどの画像検査を行って現状を把握することも必要です。

脳卒中外来では、脳卒中の診断と治療、さらに脳卒中の発症および再発の予防を行います。脳卒中以外にも、脳神経外科の専門性を生かし、頭痛、めまい、顔面痙攣、三叉神経痛、頭部外傷などの診断と治療を行います。手術などが必要な場合は、愛知医大や陶生病院などと連携して対応していきます。

相談のみでもOKです。気軽に受診してください。

外来日：火曜日・木曜日（9時-12時、16時-19時）
土曜日（9時-12時）



波多野範和：日本脳神経外科学会専門医

日本脳卒中学会専門医

公立陶生病院で、医師として脳神経外科医として歩み始めました。その後、岡崎市民病院、名古屋大学病院などを経て、名古屋第二赤十字病院に15年間勤務し、現在に至ります。

医療法人和光会 川島病院

〒463-0032 名古屋市守山区白山三丁目501番地

TEL (052) 773-1155